

イロハモミジ

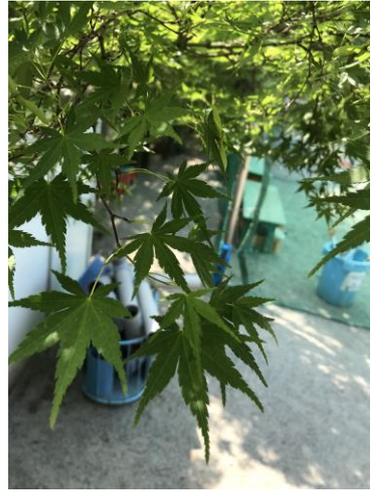
【 区画⑭(83) , 区画⑲(119, 120) , 区画⑳(123) , 区画㉘(172) , 区画㉚(182) 】

学名	<i>Acer palmatum</i> Thunb.	分類	ムクロジ科カエデ属
分布	東北地方南部～九州	樹高	10m程度の落葉高木

〈特徴等〉

名前の由来	・イロハは5～7ある裂片を「いろはにほへ」と数えたことに由来する。		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・春に葉とともに暗い赤色の小さな花をつける。		
結実等	・果実は小さく、翼をもつ。熟すと回転して落ちる。		
その他	・一般に「モミジ」というとイロハモミジ、オオモミジ、ヤマモミジを指すことが多い。		

〈写真〉

		
樹木 (5/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (6/12)
		
葉 (6/12)	花 (4/3)	果実(実) (6/12)

＜参考文献＞ 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 775.

林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 216.